

CSR Report 2026

－ 環境型社会への貢献 －



株式会社 第一ヒューテック



私たちは、21世紀に飛躍する企業として、人と環境を大切に、優れた技術力・創造力を持った建設会社を目指します。

*We stand for **H**uman, **T**echnology, **E**nvironment, **C**reativity and **C**onstruction.*

トップメッセージ

■はじめに

本レポートは、ステークホルダーの皆様へ、当社の事業活動をご理解いただくために「C S R Report 2 0 2 6」を作成しております。

「社会から認められ、お客さまから選ばれる会社になる」ために、企業価値を向上させることで、持続可能な社会を目指しておりますので、ぜひ、本報告書をご覧ください、なお一層のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

■トップメッセージ

当社は、1949年（昭和24年）創立以来、長年にわたり培ってきた経験と技術、そしてお客さまや地域社会をはじめとする多くのステークホルダーの皆様からの信頼に支えられ、事業を継続してまいりました。創立75周年という節目を経て、現在は100年企業の実現に向けた新たな歩みを進めています。

企業理念である「誠実・迅速・正確な仕事でお客さまの信頼に応え、優れた技術で人と環境に優しい社会の創造に貢献する企業」のもと、社会インフラを支える電気通信設備工事をはじめ、マンション・オフィスビル・医療・福祉施設・教育施設など幅広い分野において、安全で高品質な施工を提供してまいりました。今後も社会の持続的な発展に貢献し、企業としての社会的信用と存在価値をさらに高めてまいります。

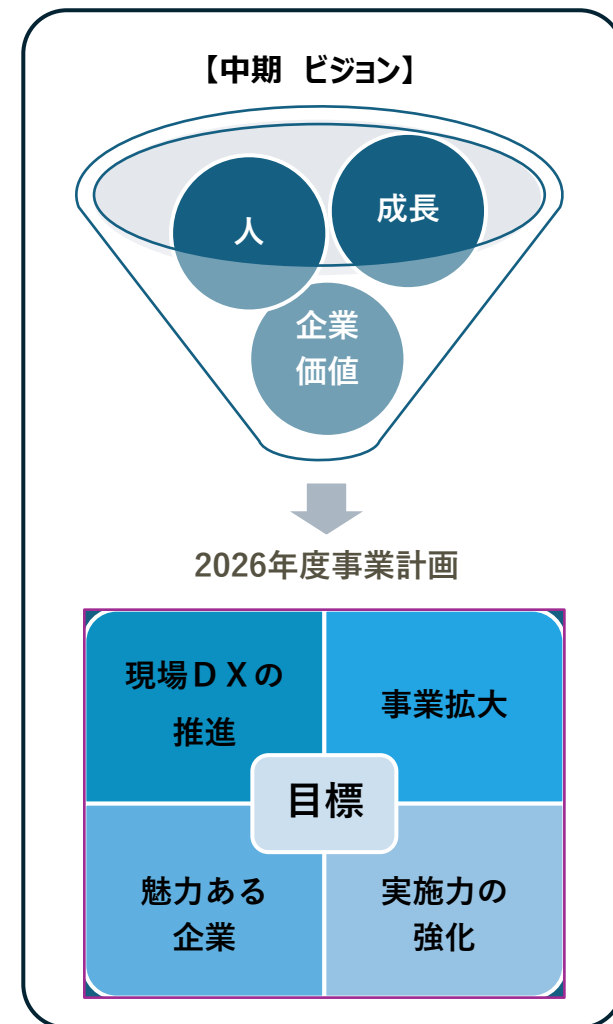
2026年度は、第十一次中期事業計画（2024～2026年度）の最終年度にあたります。これまで積み重ねてきた取り組みの成果を着実に実らせるとともに、次の成長につながる基盤づくりを進める重要な一年です。事業戦略の基本方針に基づき、自律的で効率的な業務運営を推進するとともに、技術継承や人材育成を通じて組織力の強化に取り組み、多様化するお客さまのニーズに応えてまいります。

建設業界を取り巻く環境は、資材価格の高騰や労働不足、働き方改革への対応など、依然として厳しい状況が続いています。当社においても、安全で高品質な施工体制を維持しながら、人材確保技能継承に取り組むことが重要な経営課題となっています。こうした課題に対応するため、現場D Xの推進による業務効率化・生産性向上を進めるとともに、協力会社の皆様との連携を一層強化し、持続可能な施工体制の構築を務めています。

また、企業価値向上の源泉は「人」とあると考えのもと、人材への投資を積極的に進めています。採用活動の強化はもとより、教育・研修制度の充実、資格取得支援、働き方改革の推進などを通じて、一人ひとりが成長を実感しながら活躍できる職場環境づくりに取り組んでいます。従業員が安心して働き、やりがいをもって挑戦できる企業であることが、持続的な成長の基盤であると考えています。

さらに、環境への配慮と社会的責任を果たすことも重要な使命です。環境負荷の低減、安全・品質管理の徹底、コンプライアンスの遵守をはじめ、地域社会との良好な関係構築に努め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

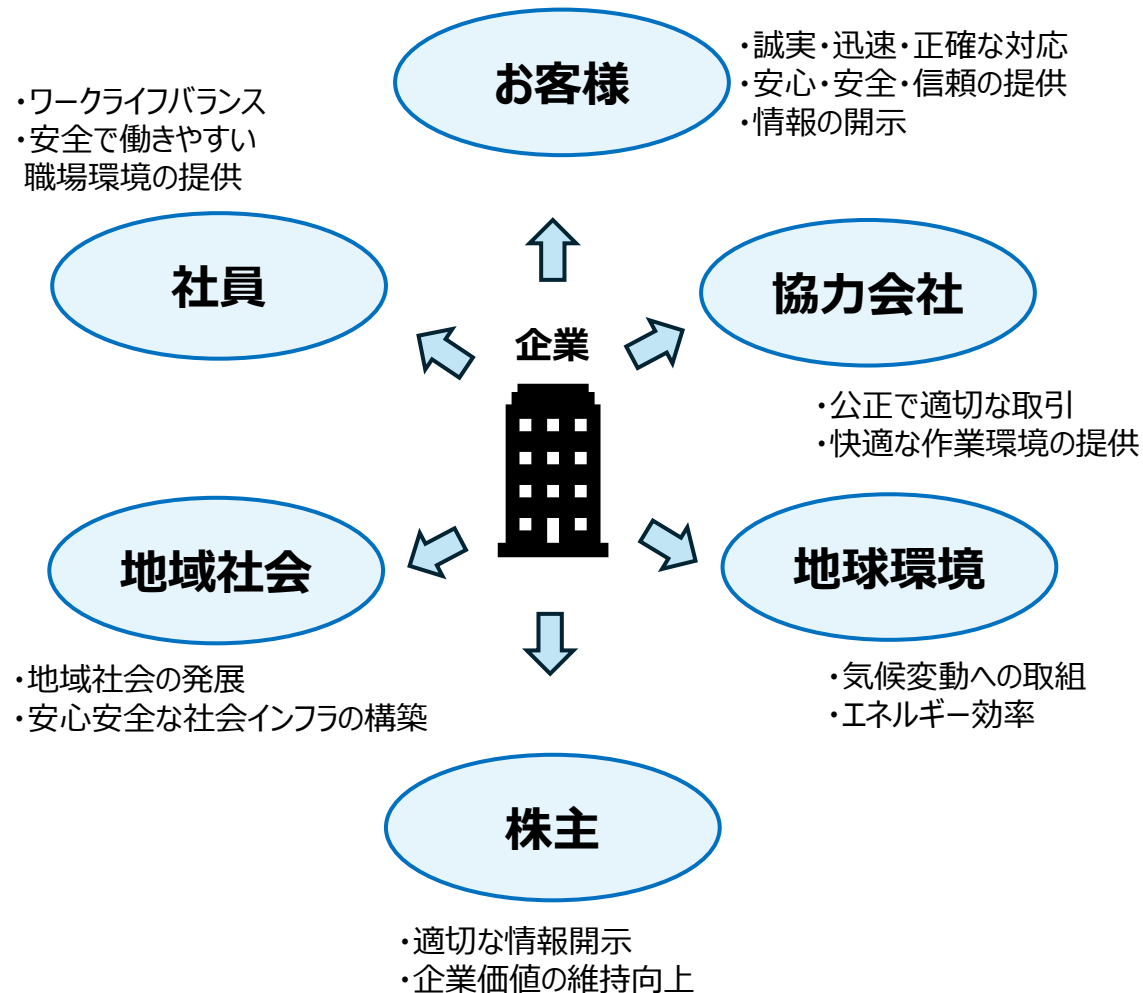
今後も、お客さまに「安全・安心・信頼」をお届けするとともに、ステークホルダーの皆様との対話を大切にしながら、社会から必要とされる企業であり続けることを目指します。皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



CSR基本方針と戦略

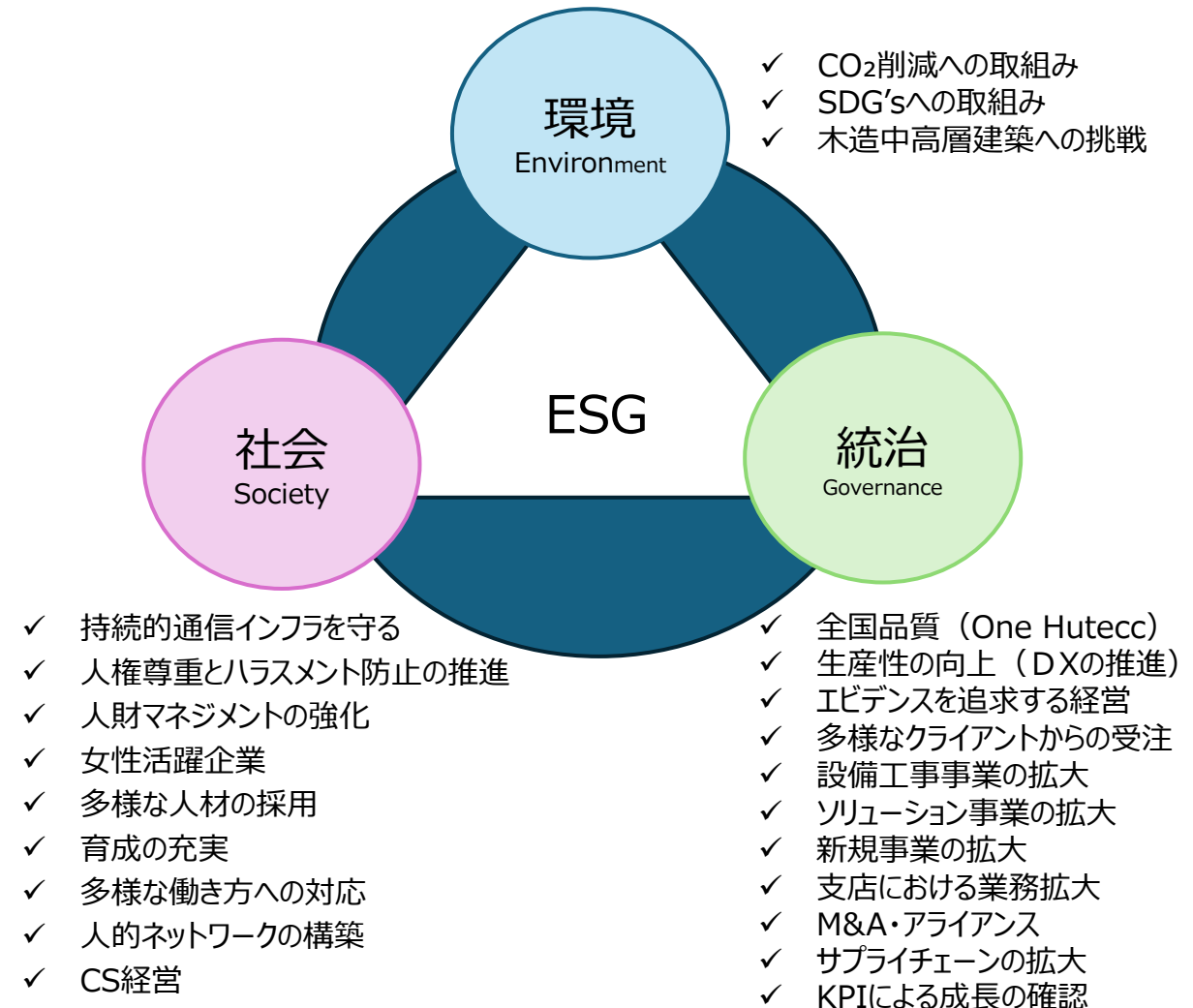
I 基本方針

第一ヒューテックは、人と環境を大切にし、優れた技術力・創造力により環境型社会に貢献するとともに、ステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを通じて、持続可能な魅力ある企業を目指します。



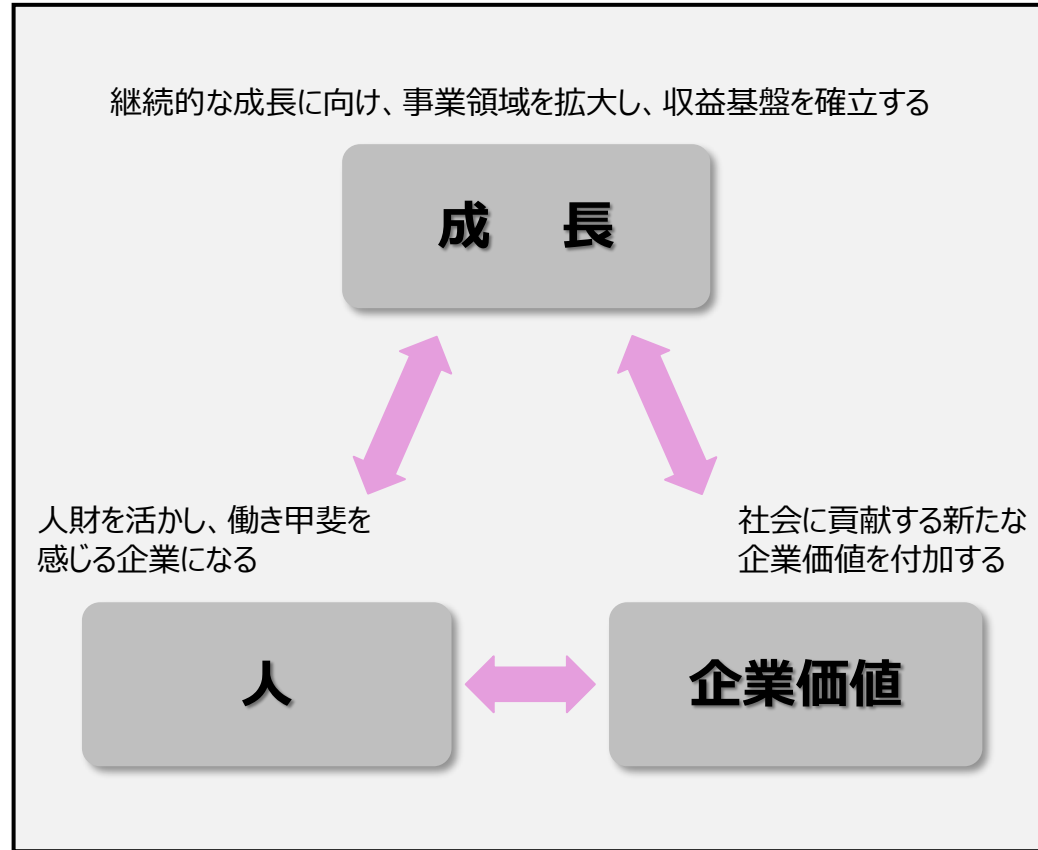
II 戦略

環境保護、人権尊重、地域社会への貢献、従業員の健康・福祉の向上、ハラスメントの防止、透明性の高い企業統治など、社会や環境全体に対して責任ある行動をとり、それを事業戦略に結び付ける活動を行います。



第十一次中期事業計画（2024年度～2026年度）

I. 2029年（80周年）に向けたビジョン



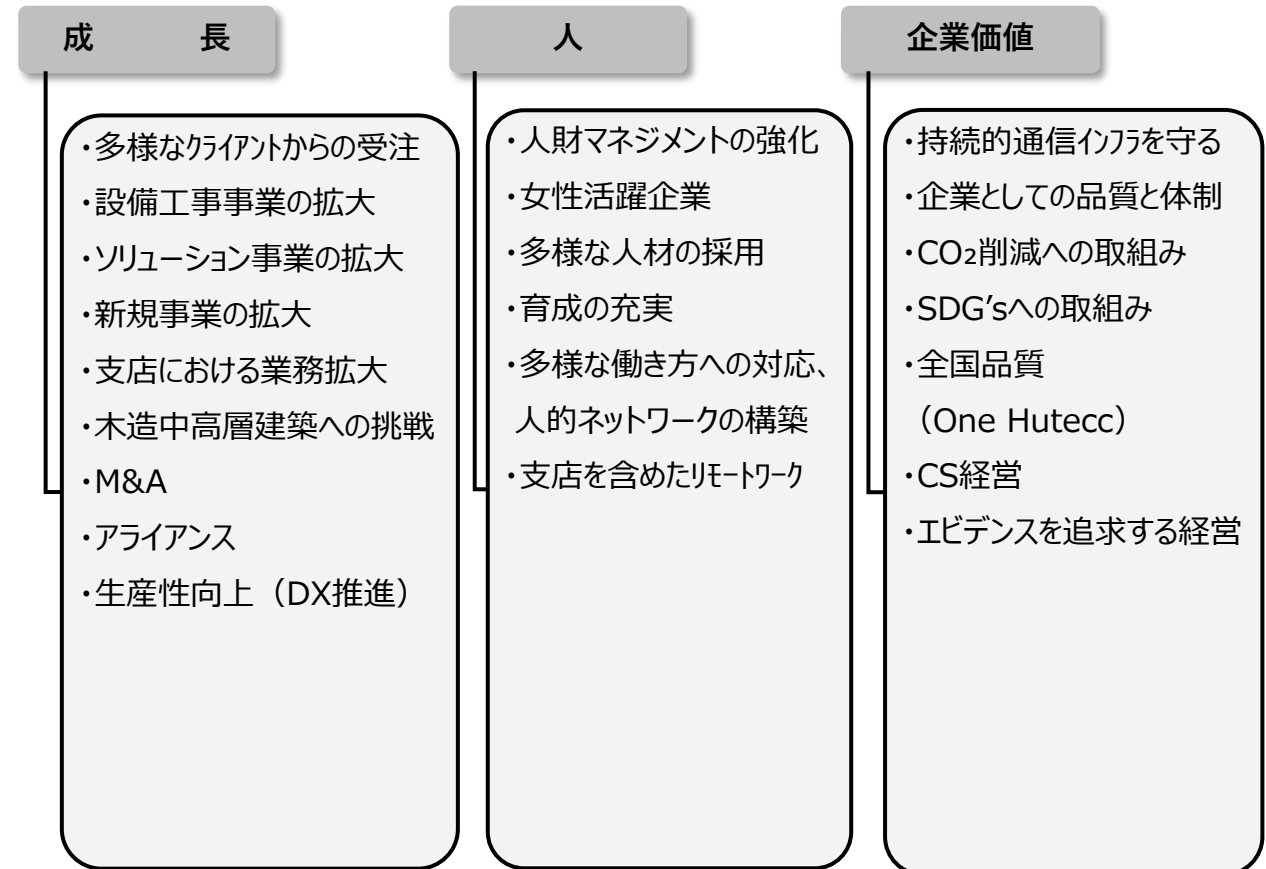
第十一次中期事業計画では、2026年度までの業績目標を受注工事高120億円以上、完成工事高120億円以上とし、事業戦略の基本方針に基づき、中期ビジョン「成長」・「人」・「企業価値」の実現を目指します。

また、私たちを取り巻く環境の変化に対応できる体制を構築し、生産性の向上を図り、より働きやすい環境を整えていくこととします。

II. 事業戦略の基本方針

堅実な事業運営を持続していくため、自律的かつ効率的な業務遂行のもと、技術の維持・継承に取り組み、多様な案件の創出・受注に向けた体制強化を図るとともに、U字回復を目指します。

また、事業の根幹である重大人身・人為事故の撲滅には、全社員が一丸となり取り組むとともに、採用活動の強化による人材確保や、社員の育成及び技術力の向上に努め、働きがいがあり技術者として力を発揮できる会社を目指します。



第82期 事業計画 (2026年度)

【第82期 事業計画】

第82期は、第十一次中期事業計画の最終年度として、これまで積み重ねてきた取り組みの成果を確実に結実させる重要な一年となります。当社は中期ビジョンである「成長」「人」「企業価値」の実現に向け、組織力と経営基盤のさらなる強化を図りながら、持続的な成長と企業価値の向上を目指しております。

社会インフラを支える企業として、何よりも優先すべきは安全です。第82期においても「無事故・無災害」を最重点課題に掲げ、安全文化のさらなる醸成と安全意識の向上に努めることで、お客様、協力会社の皆様、そして従業員が安心して働ける環境づくりを推進してまいります。また、人口減少や働き方改革への対応が求められる中、D X・A Iを活用した現場業務の効率化を加速し、生産性向上と品質確保の両立を目指します。

施工管理業務の高度化や情報共有の迅速化を進めることで、現場力の向上と働きやすい職場環境の実現に取り組みます。さらに、既存事業の深化に加え、新規事業領域の開拓や提案型営業を強化し、事業規模の拡大を図ります。同時に、技術力と実施力の強化、人材育成の充実を通じて、お客様からより一層信頼される企業を目指します。

第82期事業計画では、業績目標を受注工事高150億円、完成工事高140億円としこの目標達成に向けて、「現場D Xの推進」「事業拡大」「実施力の強化」「魅力ある企業づくり」の4つの重点施策を着実に推進し、中期事業計画の総仕上げに取り組みます。

無事故・無災害は技術力のなせる技であり、重大人身・人為事故の撲滅と品質管理の徹底により、お客様満足度を向上させます。そして、「無事故・無災害」及び「品質の確保」は、経営の最優先事項であることを改めて認識し、事業運営に取り組み、事業計画達成と会社経営の安定を目指します。



【目標を達成するための重点施策】

1. 安全文化の醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・安全施策の推進（無事故・無災害の達成） ・安全管理の向上と本社・支店間の連携強化 ・安全意識・安全知識の向上と職場への 定着化 	5. D Xの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・現場D Xによる業務効率化 生産性向上 ・生成AIの積極的導入によるデスク業務の効率化 推進 ・B I M導入の促進 	
2. 工事实施力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・施工品質の向上 ・工事の実施体制の強化（支店・リニューアル事業部・協力会社・M&A企業とのシナジー検討） ・全社 I S O運用定着 ・人材育成と技術力強化（資格取得・現場所長 育成） 	6. 経営基盤の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・事業収支計画及び管理の徹底 ・新体制の構築とM&A企業と業務運営体制強化 ・コンプライアンスの徹底 ・利益確保に向けた実効性のある施策の展開 ・脱炭素に向けた取組 	
3. 事業拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・N T T 関連及び 1 R M 以外の取り組み ・収益構造改革の検討（業務拡大） ・C R E（企業不動産）開発計画の達成 	【P Tによる施策】	
4. 営業力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・提案型プロジェクトへの取組 ・アライアンス事業への取組 ・見積競争力の強化と生産性の向上 ・営業組織の強化およびマネジメント基盤の整備 ・新規事業の開拓 	D X 採用 人材 育成	<ul style="list-style-type: none"> ・現場DXによる業務効率化 ・全社人材確保（新規・中途採用） ・技術系（工事）人材の技術力向上 ・技術系（積算）人材のスキル向上 ・営業系人材の育成（スキル向上）

CSR活動と第十一次中期事業計画との関連性

【CSR活動と第十一次中期事業計画との関連性】

当社は、第十一次中期事業計画（2024年度～2026年度）において、中期ビジョンである「成長」「人」「企業価値」の実現を目指し、事業拡大、人材育成、DX推進、品質向上、環境対応などの各種施策を推進しています。これらの取り組みは、企業の社会的責（CSR）活動と密接に結びついており、本報告書で紹介する活動は、中期事業計画の実践状況を示す重要な成果でもあります。

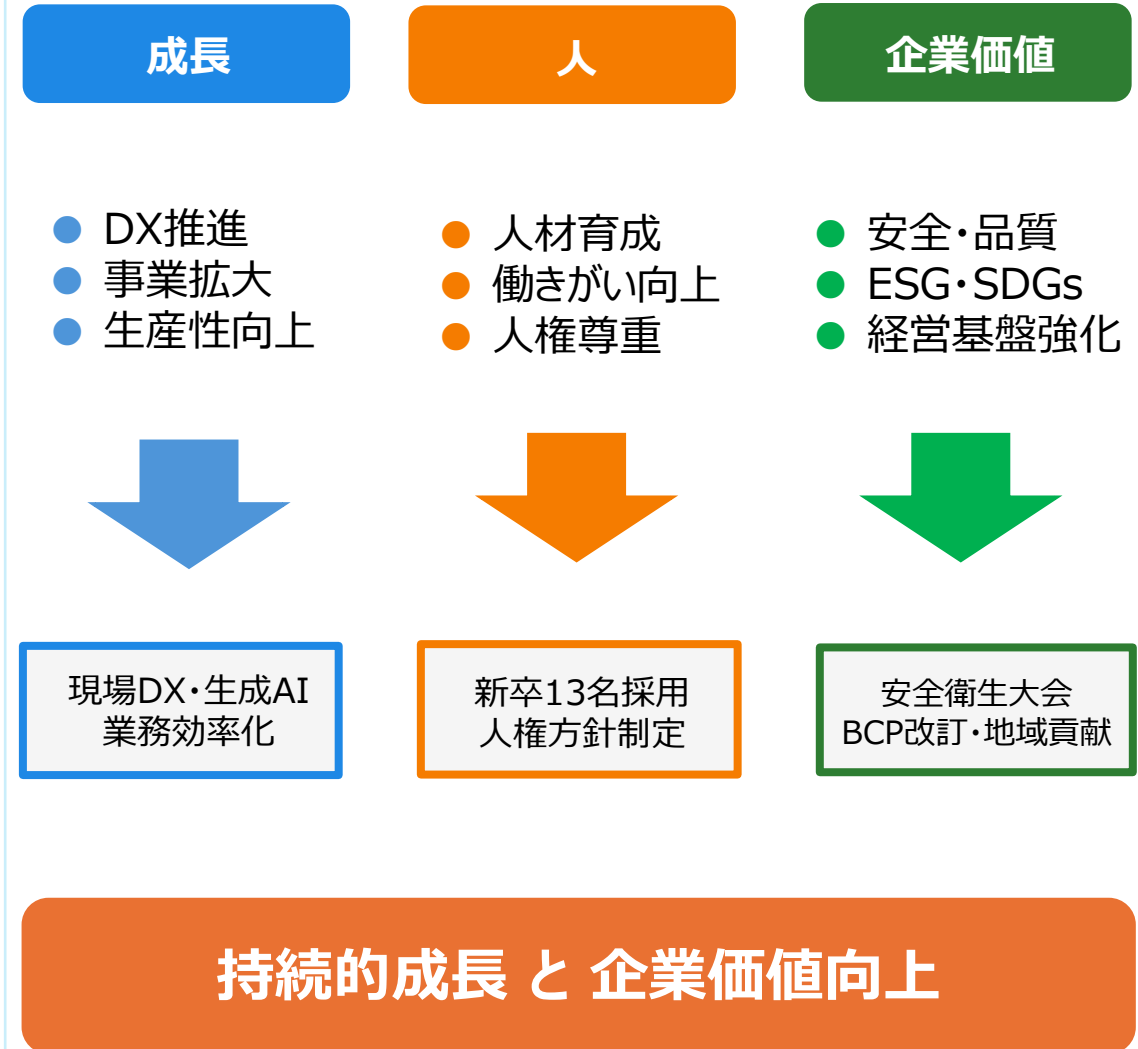
「成長」の観点では、建設DXや生成AIの活用による業務効率化、生産性向上への取り組みを推進するとともに、多様な事業機会の創出や持続的な事業基盤の強化を図っています。これらの活動は、将来に向けた競争力向上と企業成長を支える重要な施策となっています。

「人」の観点では、新卒採用の強化、人材育成、資格取得支援、職場環境の改善に加え、人権方針およびハラスメント防止方針の制定を通じて、多様な人材が安心して活躍できる職場づくりを推進しています。従業員一人ひとりの成長と働きがいの向上が、企業の持続的な発展につながるものと考えています。

「企業価値」の観点では、安全・品質の確保を最優先とし、環境負荷低減への取り組み、SDGs推進、BCPの見直し、人権尊重、コンプライアンスの徹底などを推進しています。また、地域社会との連携や情報開示の充実を通じて、社会から信頼される企業としての責任を果たし、企業価値の向上に努めています。

当社は今後も、CSR活動を経営戦略の重要な取り組みとして位置付け、第十一次中期事業計画の達成と持続可能な社会の実現の両立を目指し、企業価値のさらなる向上に取り組んでまいります。

CSR活動を通じて「成長」「人」「企業価値」の実現を推進

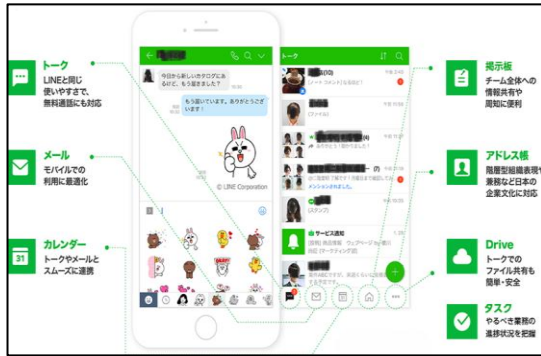


全支店で実践するCSR活動

建設DXの促進（成長）

【名古屋支店・現場連絡のDX化】

LINE+WORKSで現場連絡をスマート化.pdfでは、LINE WORKSを活用して現場連絡や 資料共有をデジタル化し、情報伝達の迅速化と伝達漏れ防止を実現しました。情報共有のデジタル化率100%を達成しています。



【東北支店・外国人作業員向け安全教育のDX化】

外国人研修生向け教育DXの導入事例.pdfでは、QRコード、多言語資料、（日本語・ベトナム語） 翻訳アプリを活用し、外国人作業員が安全情報へアクセスできる環境を整備しました。
対象現場における安全情報のデジタル提供率100%を実現しています。



労働環境の改善（人）

【全店交流親睦会ボーリング大会】

2025年12月14日に社員同士の本支店間交流の場を設け健康促進、リフレッシュを兼ねた「全店交流親睦会第4回ボーリング大会」を開催しました。



名古屋支店	東北支店
10名 参加	9名 参加
九州支店	関西支店
9名 参加	4名 参加

安全文化の更なる促進（企業価値）

【安全衛生大会の開催】

安全文化の定着と労働災害防止を目的として、安全衛生大会を開催しました。社員および協力会社関係者が参加し、安全講話や事故事例の共有、安全表彰を実施しました。参加者全員が安全への責任を再認識し、無事故・無災害に向けた意識向上を図りました。今後も継続的な安全活動を通じて、安全で働きやすい職場環境の実現を推進してまいります。

・開催日	2026/6/5	・開催日	2026/6/19	・開催日	2026/6/12	・開催日	2026/6/17
・参加人数	39名	・参加人数	48名	・参加人数	77名	・参加人数	27名
協力会社	25名	協力会社	30名	協力会社	61名	協力会社	19名
来賓	1名	来賓	5名	来賓	3名	来賓	1名
当社	13名	当社	13名	当社	13名	当社	7名



名古屋支店



東北支店



九州支店



関西支店

ESG活動報告

当社は、環境、社会、ガバナンス（ESG）を考慮した活動をおこなっています。

①品質保証

安全品質管理の徹底

②安全文化の更なる促進

安全衛生大会の開催

③建設DXの促進

現場ICTの構築

④労働環境の改善

職場環境リニューアル

⑤人権の尊重

人権方針

カスタマーハラスメント防止方針
就活ハラスメント方針

⑥SDGSの推進

環境への取組

⑦情報の開示・提供

お客様満足度調査
施工事例（完成写真）

⑧人材育成と採用

社内コミュニケーション
促進

⑨事業継続計画（BCP）

BCP促進

⑩地域貢献活動

国土交通省訓練への
継続的な参加

① 品質保証

当社は、社会資本の整備を担う企業として、品質の確保と向上を企業の社会的責任（CSR）の重要な柱と位置づけております。安全性・耐久性・機能性を兼ね備えた高品質な施工を実現するため、厳格な品質管理体制を構築し、継続的な改善に取り組んでいます。これにより、顧客満足の向上と社会からの信頼獲得を目指し、持続可能な社会の形成に貢献してまいります。

1) 安全品質管理の徹底

当社は、「人命尊重を基本とし、法令を遵守し、創意と工夫による労働災害、及び健康障害の防止と快適な作業環境の整備に努める（安全衛生管理方針）」に基づき、技術本部安全品質部による安全パトロールと経営トップ層による安全パトロールを実施しております。その結果をフィードバックし、現場の再確認を行うなど安全管理の徹底を図っております。なお、支店工事における主要工事では、本社技術本部安全品質部によるパトロールを実施し、安全・品質の強化に努めております。また、施工計画会議への参画、試験杭施工立会・配筋等の中間検査・完成検査への参画及び足場解体前検査など、品質管理の強化に努めております。

2) ISO9001認証取得

1999年5月に本社にてISO9001を認証取得しています。また、2024年9月には、全店にてISO9001 2015を取得しました。品質マネジメントシステムの継続的な改善を行い、次の事項を満たすことを目的としています。



a) 顧客要求事項及び適用される法令・規制要求事項を満たした建物及びサービスを一貫して提供する能力を持つことを実証する。

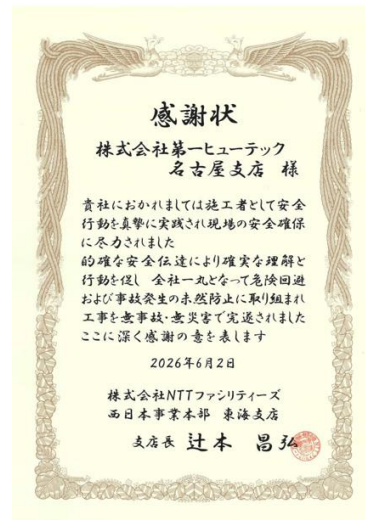
b) Q M Sの改善のプロセスを含むシステムの
 効果的な運用と顧客要求事項・適用される
 法令・規制要求事項への適合及び保証を通
 じて、顧客満足度の向上を目指す。

※2026年3月5日 11日 12日
第9回 再認証審査 実施

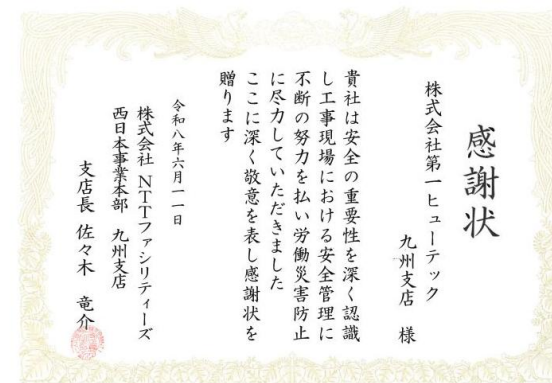
3) 感謝状の拝受

当社は、「安全・安心・信頼」を基本に「品質の確保・保証」及び「無事故・無災害」に努め工事を実施しております。

2025年度NTTグループ建築等工事の施工に際し、株式会社NTTファシリティーズ様から感謝状をいただくことができました。



東海支店様より



九州支店様より

② 安全文化の更なる促進

当社は、建設業における安全確保を企業の社会的責任（CSR）の根幹と位置づけ、すべての作業において『安全最優先』の姿勢を徹底しております。現場で働くすべての関係者が安心して業務に従事できる環境づくりを目指し、法令遵守に加え、自主的な安全管理体制の構築、教育・訓練の充実、リスクアセスメントの強化など、安全文化の定着に向けた取り組みを継続的に推進しています。これらの活動を通じて、事故の未然防止と社会からの信頼獲得に努めてまいります。

1) 2026年度 安全衛生管理方針

① 基本方針

人命尊重を基本とし、法令を遵守し、創意と工夫による労働災害及び健康障害の防止と快適な作業環境の整備につとめる。

② 安全衛生管理目標

- ・無事故・無災害の達成
- ・安全と健康の確保

③ 安全衛生スローガン

『進む技術と変わらぬ意識 未来へつなぐ安全文化 みんなで築くゼロ災害』
— One Teamで77年目の挑戦 —

④ 重点管理事項

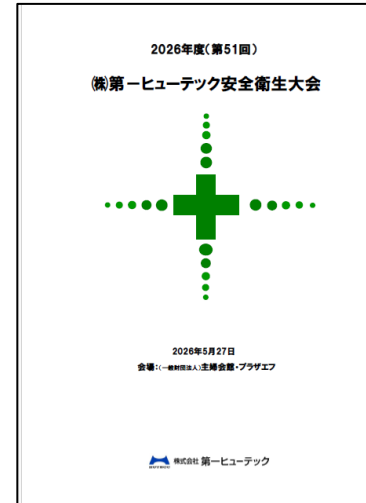
- ・全ての安全を最優先に行動する安全文化の醸成
- ・三大災害の絶滅に向けた安全活動の徹底
- ・通信災害の撲滅に向けた基本動作・基本設備の完全実施
- ・感染症対策の徹底（新型コロナウイルス・インフルエンザ感染症含む）

2) 安全衛生パトロールによる点検指導

無事故・無災害の達成に向け、各工事現場に対して安全品質部による月1回の安全パトロールを実施しています。また、経営トップによる安全パトロールを随時実施しています。2025年度は307回の点検を実施し「災害ゼロから危険ゼロへ！」と、安全先取り活動を推進してきました。

3) 安全衛生大会

本年は、集合形式により、2026年5月27日に新宿労働基準監督署様、株式会社N T Tファシリティーズ様を来賓としてお迎えし、協力会社及び当社社員など、総勢176名の出席のもと、第51回安全衛生大会を開催するとともに、2026年度安全衛生管理方針等を確認し、各種表彰や特別講演などを行いました。なお、各支店においても安全大会を開催し、無事故・無災害の達成に向けた誓いを新たに行いました。



【本社参加状況】

大会会場	来賓等	3名
	協力会社	84名
	G会社	4名
	当社社員	85名

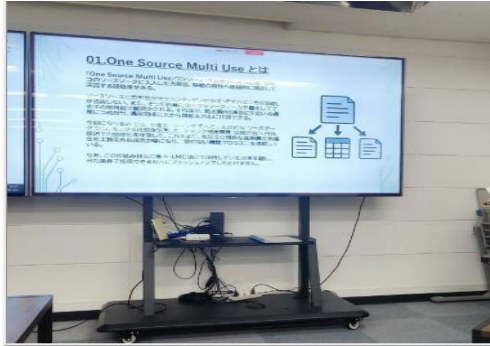
【支店安全大会実施状況】

名古屋支店	6月 5日開催
東北支店	6月19日開催
九州支店	6月12日開催
関西支店	6月17日開催

③ 建設DXの促進

当社は、急速に変化する社会・経済環境に対応すべく、デジタルトランスフォーメーション（DX）を企業戦略の中核に据えています。主力業務である建設の現場での効率化や新たな価値創造を通じて、顧客満足度の向上と持続可能な成長を実現いたします。

1) DXレポート選考会



社内でDXレポート選考会を実施しDXの促進を目指しています。

【81期DX優秀賞】

① One Source Multi Use

② 積算業務×生成AI＝効率化

3) 現場での様々なAI活用

熱中症リスク判定、安全管理サポートなど試作段階ではありますが、現場で実施し、実施データを蓄積して、引き続き活用方法の検討をしています。



2) 各現場 DX活用事例



① 現場用モニターの活用

朝礼・昼礼や安全衛生協議会において、図面や工程表を大型モニターへ表示しながら打合せを実施しています。また、新規入場者教育では動画コンテンツを活用し、教育内容の標準化と業務効率化を図っています。

② ウェアラブルカメラによる遠隔確認

現場作業員が装着したウェアラブルカメラの映像を事務所へリアルタイム配信することで、離れた場所からでも施工状況を確認できます。これにより、品質管理の向上や不具合の早期発見・是正につながっています。

③ Teamsを活用した情報共有

打合せ記録、現況写真、工程表、搬出入計画などの情報をTeams上で共有しています。紙や口頭による伝達を削減し、情報共有の迅速化と伝達ミスの防止を実現しています。

④ 労働環境の改善

当社は、従業員一人ひとりが安心して働ける職場環境の整備を、企業の持続的成長に不可欠な要素と捉えております。働きやすさと働きがいの両立を目指し、労働時間の適正管理、健康支援制度の充実、継続的な改善に取り組んでいます。これらの施策を通じて、従業員の幸福と企業価値の向上を両立させることを目指しています。

1) トップと社員とのコミュニケーション

年2回、経営トップが各工事作業所を巡回し、それぞれの社員と要望・意見等について、ディスカッションを行い、社員の士気高揚と職場環境改善に努めています。

2) ハラスメント等に対する取り組み

当社は、「ハラスメント防止方針」を定め、従業員就業規則にも禁止行為を明記するとともに、ハラスメント・人権問題、不正・不祥事、メンタルヘルス・勤務等に関する相談等社員が安心して幅広い相談できるよう相談窓口を社内及び社外に設置し、全社員を対象としたハラスメント研修（2026年7月～9月実施）により意識の醸成に努めています。また、社員とご家族の健康をサポートすることを目的とした、健康相談窓口を2026年7月1日より新たに開設しました。

3) 社内レクリエーション

2025年12月14日に社員同士の支店間交流の場を設け健康促進、リフレッシュを兼ねた「全店交流親睦会第3回ボーリング大会」を開催しました。



4) サークル活動



社員の健康増進・リフレッシュや社員間のコミュニケーション増進等を目的とした各種サークル活動を行っており、各種大会へ参加しております。※2026年9月よりバスケットボールサークルが加わりました。



フットサルサークル



バイクサークル



軟式野球

5) あつさ手当の支給

2025年度に導入した「あつさ手当」制度について、本年度も継続して運用しています。夏季期間（7月～9月）における熱中症リスクの低減と従業員の健康保持を目的として、一定の条件を満たす従業員へ手当を支給し、安全で働きやすい職場環境づくりを推進しています。

6) 本社事務所整備

2026年2月～2026年3月 女性社員の増加に伴い、本社ビル4階に女性用トイレを増設し、働きやすい職場環境の整備と利便性向上を図りました。

⑤ 人権の尊重

当社は、お客さま、協力会社、地域社会をはじめとする多くの関係者との信頼関係によって支えられています。特に建設事業に携わる企業として、人権尊重を企業活動の基本原則として位置付け、社員一人ひとりが高い人権意識を持って事業活動を行っていくことが大切であると考えています。

そのため、この度「第一ヒューテック 人権方針」をはじめ、「カスタマーハラスメント防止方針」及び「就活ハラスメント防止方針」を制定するとともに、各方針を実効性あるものとするため、社内規程の整備、教育・啓発、相談・通報体制の充実に取り組んでいます。

01 人権方針

事業活動に関わる すべての人の人権を尊重

- 差別の禁止
- ハラスメントの防止
- 強制労働・児童労働の禁止
- 安全で健康的な職場環境の確保
- タイバーシティ&インクルージョンの推進
- 相談・通報体制の整備と救済

✓ [株式会社第一ヒューテック-人権方針.pdf](#)

02 カスタマーハラスメント防止方針

誠実な顧客対応と 従業員の尊厳を両立

- お客様からのご意見・ご要望に誠実に
対応します
- 社会通念上不相当な言動は容認しません
- 組織として従業員を守り、毅然かつ適切に
対応します
- 悪質な事案は関係機関と連携します
- 相談・通報体制を整備し、従業員を
支援します

✓ [株式会社第一ヒューテック-カスタマーハラスメント防止方針.pdf](#)

03 就活ハラスメント防止方針

就活者等が安心できる 公正で誠実な採用活動

- 公正で誠実な採用活動を行います
- セクハラやオワハラを含むハラスメント
行為を行いません
- 求職者等のプライバシーを尊重します
- 相談・通報体制を整備し、迅速に
対応します

✓ [株式会社第一ヒューテック-就活ハラスメント防止方針.pdf](#)

⑥ SDGsの推進

当社は、「社会から認められ、お客さまから選ばれる会社になる」ために、企業価値を向上させることで、持続可能な社会の実現に貢献することを第十一次中期事業計画の事業戦略で策定し、SDGs の目標の一つである「働きがいも、経済成長も（継続的な成長に向け事業領域を拡大、働き甲斐を感じる企業、社会に貢献する新たな企業価値）」に注力し、取り組んでおります。

SDGs（Sustainable Development Goals／持続可能な開発目標）は、17の目標と169のターゲット及び232の指標から構成され、2030年までに持続可能でより良い世界の実現を目指すことを目的としています。SDGs が掲げる目標は幅広く、企業に取り組むべきことは多岐にわたりますが、17の目標は相互に関連し包括的に解決すべきもので、私たちの小さな選択がSDGs達成に影響します。



1) 多様な働き方への対応

DXの推進による業務効率化および生産性向上を図るとともに、法令遵守の徹底に取り組んでおります。

また、「CSS部※」による現場支援体制の強化を継続し、現場施工支援、現場事務支援、施工図作成・チェック支援などを実施しております。これにより、業務効率化と施工品質の向上を推進するとともに、長時間労働の抑制および労働環境の改善に努めます。

※Construction Site Support（建設現場サポート）

2) 環境への取り組み

- ① 「お客様への挨拶用タオル」は、環境に配慮したエコタオル（脱炭素）を採用しております。
- ② 温室効果ガス排出量削減に向けた課題
 - ・対策を検討するとともに、サプライヤーとして、社会の環境負荷低減に貢献致します。
 - Scope 1、2（自社直接・間接排出） Scope 3（上流・下流間接排出）
- ③ 社員の健康管理と職場環境の改善を目的として、本社ビルの空気環境測定を実施しました。温度・湿度・気流・二酸化炭素濃度等の各項目を測定し、快適で安全な職場環境の維持に向けた取り組みを継続しています。



⑦ 情報の開示・提供

当社は、企業活動における透明性の確保を重要な責務と捉え、ステークホルダーの皆様との信頼関係の構築に努めております。経営情報やCSR活動、環境への取り組み等に関する適切な情報開示を通じて、社会との健全な対話を促進し、持続可能な企業運営を目指してまいります。

1) ホームページによる情報開示・情報提供 <https://www.hutecc.jp>

私たちは、21世紀に飛躍する企業として、人と環境を大切にし、優れた技術力・創造力を持った建設会社を目指します。

ホームページの内容を適宜更新し、最新の情報を皆様にお届けするよう努めております。建物用途別に当社が携わった完成建物紹介や、2026年度新規採用情報、中途採用情報、社員紹介なども掲載していますので、ぜひご覧下さい。

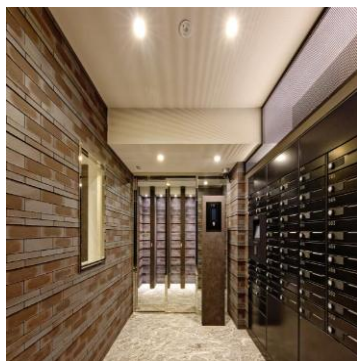
① CS（お客様満足度）調査について

お客様による弊社のイメージ調査および、ある規模以上の工事の満足度調査を行い、評価をいただき、社員表彰・社員教育に反映することで今後の業務遂行に活かします。

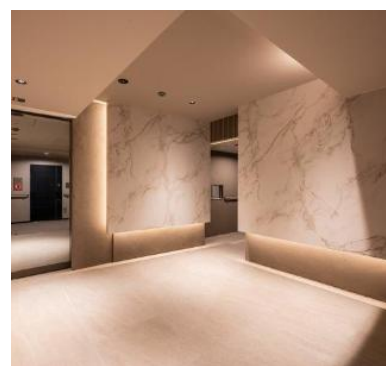
② 完成物件の紹介（写真参照）



Aマンション（足立区）



Cマンション（中野区）



Yマンション（横浜市）



2) 決算公告

2021年度（第77期）から2025年度（第81期）の決算公告（貸借対照表）を ホームページにて掲示しています。

3) 事業報告

当社は、定時株主総会終了後「事業報告」を作成し、おもに当該年度の事業環境、財務諸表等を提供しています。

⑧ 人材育成と採用

当社は、持続可能な社会の実現に向けて、人材の採用および育成を企業の社会的責任（CSR）の重要な要素と位置づけております。社員が能力を最大限に発揮できる環境を整備し、個々の成長を支援することで、企業としての価値創造のみならず、社会全体への貢献を目指しています。

1) 入社式・創立76周年記念式典及び各種表彰

2026年4月1日には、新入社員13名を迎えた入社式を行うとともに、創立77周年記念式典を行いました。

また、併せて多年勤続に対する功績として節目を迎えた社員13名の「多年勤続表彰」、及び優秀な工事成果に対する功績を認めた7事業所・社員12名に対し「優秀工事賞」、工事施工について極めて効果的であり、会社の技術水準の向上に寄与した技術レポートであると認めた社員6名に対し「技術レポート賞」、お客様の満足度が高い工事と認めた5事業所・社員14名に対し「CS優秀工事賞」、現場DXの促進に貢献した社員9名に対し「DX優秀・奨励賞」の表彰を行いました。



【役員と新入社員】



【創立記念パーティー】

2) インターンシップの受け入れ、及び現場見学会の実施

実際の業務や働く環境を体験して、仕事の内容や働くことの理解を深めること、また会社の魅力や就職への興味を深めることを目的として、インターンシップや現場見学会を積極的に受け入れております。

3) 新入社員研修

新入社員の研修においては、集合研修、及び事前に現場以外の業務（営業部、積算部、安全品質部、工事管理部）を経験し、今後業務に必要な知識や技術を習得させることを目的としたOJT研修など含め約2ヶ月間の研修を実施いたしました。

4) 若手社員の育成

「人材育成PT」により、入社3年目までの工事本部社員を対象に、アンケート調査やフォローアップ面談を実施し、アドバイスやフィードバックを行っています。また、OJTやOFFJTの実施計画表を作成し、計画的かつ積極的に研修・講習会への参画を展開し、人材育成と技術力向上に努めています。

5) 資格取得の奨励

2025年度の主な公的資格取得者（1級電気工事施工管理技士：1名 合格）業務を遂行する上での技術力の維持・向上を図ることを目的に、資格取得者には資格取得費用、資格取得奨励金、資格手当を支給しています。

また、2021.4.1技術検定制度改正に伴う新たな各技士補も支給対象としております。

主な公的資格取得者数 一級建築士：24名 1級電気工事施工管理技士：4名 1級建築施工管理技士：85名 1級管工事施工管理技士：5名 宅地建物取引主任者：11名

⑨ 事業継続計画（BCP）

本計画書は、緊急事態（地震・台風・大雨・洪水・土砂災害・高潮・感染症のパンデミック の発生等）において、社員及びその家族の安全を確保したうえで、当社の事業を継続することを目的として策定したものです。

2026年は、1月の島根県東部地震（最大震度5）、4月の長野県北部地震（最大震度5）・三陸沖地震（最大震度5強・津波観測）、6月の岩手県沖地震（最大震度6強・津波観測）、7月の熊本地震（最大震度7）及び千葉県・石川県での記録的な豪雨などの自然災害が頻発していることを踏まえ、事業継続体制の強化と防災意識向上を目的として、毎年9月に防災訓練を実施しています。

本年は、2026年8月7日（金）に大規模地震における初動対応「緊急連絡（安否）訓練」の実施と四谷消防署を招いて災害時に救急支援を行う為のAED講習を実施しました。（AED講習は、自衛消防隊メンバー 14名が参加）

また、今年は事業継続計画（BCP）の見直しを行いました。（2026年9月1日）

1）災害対策関連（大規模地震・台風・大雨・洪水・土砂災害・高潮）

大規模地震発生後は、すべての経済活動が停止することが想定されます。

- ①社員・家族の安否確認、家屋等の被害状況の確認とその対応を最優先
- ②その後、各工事現場の復旧やお客様対応を行う。

また、被害想定に基づき、事前対策や緊急時の連絡体制、災害対策本部の設置と役割、各フェーズごとのリスク把握と対応方法など策定して緊急事態に備えております。



2）パンデミック感染症対策（新型コロナウイルス感染症対策関連）

社会経済活動や日常生活は、回復傾向を続けていることもあり、今後の感染者動向を見つつ、引き続き社員一同感染予防に努めてまいります。

⑩ 地域貢献活動

当社は、地域社会との共生を企業の社会的責任（CSR）の重要な使命と捉え、建設事業を通じた地域の発展と暮らしの質の向上に貢献することを目指しております。地域住民との対話を重視し、環境保全活動、防災支援、教育・文化活動への協力など、多様な地域貢献活動を継続的に展開しています。これらの取り組みを通じて、地域に根ざした信頼される企業としての責務を果たしてまいります

1) 国土交通省関東地方整備局主催 首都直下地震防災訓練

国土交通省関東地方整備局主催の首都直下地震防災訓練への継続して参加・協力し、災害発生時における迅速な初動対応体制の確保と、防災関係機関との連携強化に努めます

2) 須賀神社例大祭

本社は東京の四ツ谷にあり、毎年6月になると「須賀神社例大祭」が盛大にとりおこなわれます。町内では御神輿が繰り出され、当社からも担ぎ手が参加しています。新宿通りに響く神輿担ぎのかけ声は、四谷の梅雨入り間際の風物詩となっています。

本年（2026年）は、6月6日から6月7日に須賀神社例大祭が執り行われました。



「四谷須賀神社大祭」

須賀神社は、赤坂・清水谷にあったものを寛永11年(1634)に江戸城外堀普請のため四ツ谷に移されました。牛頭天王社と稲荷社の二社を合祀し、明治元年に改称され須賀神社と呼ばれる様になったそうです。社殿内には三十六歌仙絵が掲げられています。三十六歌仙は、平安時代の歌人藤原公任が作った「三十六人撰」に基づくもので、万葉歌人や古今集の頃の有名な歌人36人を選んだものです。昭和27年に区指定有形文化財に指定されたこの絵は、天保7年(1836)大岡雲峰が描いたもので、歌は千種有功の筆とされています。

【発行にあたり】

本報告書は、当社の事業活動を広く開示することを目的に、2025年10月から2026年9月までの1年間の事業活動、事業収支額については、2026年3月の決算値に基づき作成しました。

2026年10月発行

株式会社 第一ヒューテック 管理本部 総務部

TEL：03-3359-8811 FAX：03-3353-0067